

(様式第9)

医大病第391号  
平成21年10月21日

厚生労働大臣 様

北海道公立大学法人 札幌医科大学  
理事長 今井 隆

札幌医科大学附属病院の業務に関する報告について  
標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	48 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護婦及び准看護婦、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	227人	157人	384.0人	看護業務補助者	9人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	9人	8.2人	17.2人	理学療法士	12人	臨床検査技師	53人
薬剤師	30人	4人	34.0人	作業療法士	5人	臨床衛生検査技師	0人
保健婦	0人	0人	0.0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助産婦	31人	0人	31.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	661人	44.7人	705.7人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	7人	2.8人	9.8人	栄養士	0人	その他技術員	8人
歯科衛生士	4人	0人	4.0人	歯科技工士	3人	事務職員	84人
管理栄養士	4人	1人	5.0人	診療放射線技師	45人	その他職員	61人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の数を含めなくて記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれ員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者数と外来患者数

	歯科等以外	歯科等	合計
一日当たり平均入院患者数	674人	28.8人	702.8人
一日当たり平均外来患者数	1,604.4人	107.5人	1711.9人
一日当たり平均調剤数		1,190.7劑	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延べ数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院および外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・無	9人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・無	1人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅷ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージI又はIIの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類III度又は同分類IV度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31P一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術(インスリーノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、脾管内腫瘍その他の脾良性腫瘍に係る脾体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マンテル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャーマ病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャーマ病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシビタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・無	2人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオリジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。))	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	①有・無	12人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	81人	・モヤモヤ病（ウイリス動脈輪閉塞症）	57人
・多発性硬化症	97人	・ウェグナー肉芽腫症	12人
・重症筋無力症	132人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	46人
・全身性エリテマトーデス	192人	・多系統萎縮症	23人
・スモン	人	・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	1人
・再生不良性貧血	32人	・膿疱性乾癬	9人
・サルコイドーシス	69人	・広範脊柱管狭窄症	人
・筋萎縮性側索硬化症	40人	・原発性胆汁性肝硬変	42人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	163人	・重症急性膵炎	9人
・特発性血小板減少性紫斑病	70人	・特発性大腿骨頭壊死症	76人
・結節性動脈周囲炎	25人	・混合性結合組織病	26人
・潰瘍性大腸炎	110人	・原発性免疫不全症候群	1人
・大動脈炎症候群	27人	・特発性間質性肺炎	15人
・ピュルガー病	15人	・網膜色素変性症	29人
・天疱瘡	14人	・プリオン病	人
・脊髄小脳変性症	37人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	36人	・神経線維腫症	18人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	10人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・パーキンソン病関連疾患	121人	・特発性慢性肺血栓栓塞症（肺高血圧症）	1人
・アミロイドーシス	13人	・ライソゾーム病（ファブリー〔Fabry〕病）含む	2人
・後縦靭帯骨化症	84人	・副腎白質ジストロフィー	人
・ハンチントン病	1人		

（注）「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門で開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に4～5回		
剖検の状況	剖検症例数	33例	剖検率 14.1%

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	今井 浩三	内科学第一講座	1,200,000	補委 厚生労働省
エピジェネティックな異常による消化器癌発生の分子機構と診断・治療への応用	今井 浩三	内科学第一講座	16,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ヒト型抗がん抗体による免疫治療	今井 浩三	内科学第一講座	27,500,000	補委 文部科学省
がんの発生と進展におけるDNAメチル化およびヒストン修飾異常の役割	豊田 実	内科学第一講座	9,400,000	補委 文部科学省
消化管間質腫瘍におけるマイクロRNA発現異常の解明	篠村 恭久	内科学第一講座	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
炎症を基盤とした未分化型胃癌のエピジェネティクス解析と発癌リスク予測	篠村 恭久	内科学第一講座	6,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ヒストンメチレーションからアプローチする病態分子診断法の開発	安達 正晃	内科学第一講座	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
新規エピゲノム解析技術の開発と消化器癌の個性診断・個別化治療への応用	豊田 実	内科学第一講座	6,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ヒト多段階発がん過程におけるエピジェネティックな異常の網羅的解明と臨床応用に関する研究	豊田 実	内科学第一講座	7,000,000	補委 厚生労働省
前がん状態におけるDNAメチル化異常の意義に関する研究	豊田 実	内科学第一講座	11,770,000	補委 厚生労働省
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	高橋 裕樹	内科学第一講座	5,000,000	補委 厚生労働省
生体マーカーを標的とした進行肝癌の治療	佐々木 茂	内科学第一講座	1,200,000	補委 東京大学
プロテオミクスを用いたIgG4関連疾患の疾患特異的自己抗原の同定と診断法の確立	山本 元久	内科学第一講座	1,700,000	補委 文部科学省
多発性骨髄腫におけるレナリドマイド耐性の機序解析とそれに基づく新規併用療法の開発	安井 寛	内科学第一講座	1,600,000	補委 文部科学省
保険指導への活用を前提としたメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出のための横断・縦断研究	島本 和明	内科学第二講座	2,400,000	補委 厚生労働省
高血圧管理におけるガイドラインの遵守と目標達成度に関する研究	島本 和明	内科学第二講座	1,200,000	補委 厚生労働省
心筋細胞保護シグナルにおけるコネキシン43の役割	三浦 哲嗣	内科学第二講座	1,900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
多施設コホートを基盤とした糖尿病・メタボリックシンドロームの発症要因と脳卒中・心筋梗塞の発症に果たす役割に関する前向き研究	齋藤 重幸	内科学第二講座	4,000,000	補委 厚生労働省
食生活・栄養素摂取状況が高齢者の健康寿命に与える影響に関する研究:NIPPON DATA 80・90の追跡調査	齋藤 重幸	内科学第二講座	300,000	補委 厚生労働省
大規模コホート共同研究による生活習慣病発症予防データベース構築とその高度利用に関する研究	齋藤 重幸	内科学第二講座	2,000,000	補委 厚生労働省



喫煙と肥満症-分子医学から臨床疫学まで-、喫煙習慣と肥満症(特に内臓肥満)の関連とそれらの動脈硬化進展に与える影響-地域疫学研究-	齋藤 重幸	内科学第二講座	1,000,000	補委	喫煙科学研究財団
日本人循環器疾患へのメタボリックシンドロームの関与の検討	齋藤 重幸	内科学第二講座	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
蛋白質アセチル化酵素SIRT1の活性制御機構解明と心不全治療への応用	丹野 雅也	内科学第二講座	1,700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
心不全によるHIF-1の発現の変化とその心筋細胞死への関与	矢野 敏之	内科学第二講座	1,100,000	補委	文部科学省
今後の特定健康診査・保険指導における慢性肝臓病(CKD)の位置づけに関する検討	吉田 英昭	内科学第二講座	2,000,000	補委	厚生労働省
肺コレクチンを用いた薬剤性肺障害の制御	高橋 弘毅	内科学第三講座	1,900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ばまん性肺疾患に関する調査研究	高橋 弘毅	内科学第三講座	800,000	補委	厚生労働省
ガイドライン普及のための対策とそれに伴うQOLの向上に関する研究	田中 裕士	内科学第三講座	700,000	補委	厚生労働省
ACFを標的とした大腸癌の化学予防	新津 洋司郎	内科学第四講座	13,200,000	補委	文部科学省
VA-Liposome-siRNAHSP47を用いた抗線維化治療	新津 洋司郎	内科学第四講座	23,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
C型肝炎からの肝発がんに関わる酸化的DNA損傷修復遺伝子群の解析	加藤 淳二	内科学第四講座	5,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究	加藤 淳二	内科学第四講座	1,000,000	補委	厚生労働省
がん生物学に基づく新しい治療法の開発に関する研究	松永 卓也	内科学第四講座	1,700,000	補委	厚生労働省
癌随伴線維芽細胞を標的としたがん治療法の開発	瀧本 理修	内科学第四講座	5,000,000	補委	文部科学省
特異的線維化療法によるスキルス胃癌の新規治療法の開発	瀧本 理修	内科学第四講座	6,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
Wnt, Rhoシグナルを分子標的とした骨髄腫の間質細胞接着依存性抗癌剤耐性の克服	小船 雅義	内科学第四講座	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
C型肝炎における鉄代謝調節因子GDF15-ペプシジン制御機構の解明とその治療応用	宮西 浩嗣	内科学第四講座	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ヒトhTERTストローマ細胞を用いた抹消血造血幹細胞の分裂制御機構の解析	河野 豊	内科学第四講座	1,300,000	補委	文部科学省
B細胞リンパ腫のCD19抗体標識リポソームを用いたp38MAPK分子標的治療	佐藤 勉	内科学第四講座	1,700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
肝に局在する新規分子マーカーを用いた高質な肝予備能評価を目指した基盤的研究	平田 公一	外科学第一講座	4,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
免疫逃避克服による新規癌ペプチドワクチン療法の確立	平田 公一	外科学第一講座	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
進行肝細胞癌に対する集学的治療確立に関する研究	平田 公一	外科学第一講座	500,000	補委	厚生労働省

患者・家族・国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベースや医療機関データベースの構築に関する研究	平田 公一	外科学第一講座	9,000,000	補委	厚生労働省
胃癌細胞株の肝転移またはリンパ節転移能に関する遺伝子群と生物学的機能の解析	山口 浩司	外科学第一講座	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
超過冷却保存されたヒト小型細胞によるヒト肝臓化ハイブリッドマウスの開発	水口 徹	外科学第一講座	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新規の過冷却臓器保存法の開発と豚肝移植への応用について	目黒 誠	外科学第一講座	1,900,000	補委	文部科学省
骨髄傷害防止の観点からみた胸部下行・腹胸部大動脈瘤外科治療ないしはステンドグラフト治療体系の確立(H20-医療-一般-017)	樋上 哲哉	外科学第二講座	500,000	補委	厚生労働省
遺伝子発現プロファイリングによる閉塞性細気管支炎(慢性肺拒絶)の発生機序の解明	森川 雅之	外科学第二講座	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
悪性黒色腫においてエピジェネティック発現制御を受ける細胞遺伝子の解析	山下 利春	皮膚科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
悪性黒色腫個別化治療を目指した薬剤感受性と遺伝子異常の関連解析	肥田 時征	皮膚科学講座	700,000	補委	文部科学省
RSウイルス感染症の重症化に関係するホストの遺伝子変異に関する研究	堤 裕幸	小児科学講座	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
予防接種で予防可能疾患の今後の感染症対策に必要な予防接種に関する研究	堤 裕幸	小児科学講座	2,000,000	補委	厚生労働省
2本鎖RNAによる抗RSウイルス作用に関する研究	永井 和重	小児科学講座	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
小児期のリウマチ・膠原病の難知性病態の診断と治療に関する研究	永井 和重	小児科学講座	500,000	補委	厚生労働省
急性移植片対宿主病におけるDNAメチル化およびヒストン修飾異常の役割	山本 雅樹	小児科学講座	2,000,000	補委	文部科学省
ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	寶金 清博	脳神経外科学講座	1,000,000	補委	厚生労働省
未破裂脳動脈瘤の治療指針と個別意思決定に関する研究	寶金 清博	脳神経外科学講座	1,200,000	補委	厚生労働省
亜急性期の脳梗塞に対する遺伝子組み換え骨髄幹細胞移植の検討	本望 修	脳神経外科学講座	4,000,000	補委	独立行政法人 科学技術振興機構
遺伝子組み換え骨髄幹細胞の静脈内移植による脊髄損傷治療の基礎的研究	野中 雅	脳神経外科学講座	1,500,000	補委	独立行政法人 科学技術振興機構
神経損傷に対する移植治療の基礎及び臨床研究	秋山 幸功	脳神経外科学講座	1,300,000	補委	文部科学省
脊髄空洞症発症に関わる髄内微少循環の解明と新たな治療法の開発	小柳 泉	脳神経外科学講座	800,000	補委	独立行政法人 科学技術振興機構
過疎の進む地域の医療従事者に対するストロークチームによる卒後・職能教育	齊藤 正樹	脳神経外科学講座	800,000	補委	独立行政法人 科学技術振興機構
悪性神経膠腫に対するTemozolomideの治療効果を増強した標準治療確立に関する研究	南田 善弘	脳神経外科学講座	600,000	補委	厚生労働省
脊髄損傷に対する間葉系幹細胞移植におけるジアンルグリセロールの神経再生への関与	村上 友宏	脳神経外科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人 科学技術振興機構

口腔扁平上皮癌に対する新規癌抗原の同定と臨床応用に向けての研究	小林 淳一	口腔外科学講座	600,000	補委	文部科学省
口腔癌の腫瘍血管形成時に誘導される遺伝子群の解析とその分子標的治療法の確立	荻 和弘	口腔外科学講座	500,000	補委	文部科学省
婦人科腫瘍における細胞接着分子をターゲットとした新規治療の開発と治療戦略の個別化	斉藤 豪	産婦人科学講座	2,800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
進行性卵巣がんにおける化学療法先行治療の確立に関する研究	斉藤 豪	産婦人科学講座	1,100,000	補委	厚生労働省
PCOSモデルとして、男性ホルモン投与性同一性障害症例を応用した研究	遠藤 俊明	産婦人科学講座	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
子宮内胎児発育遅延における胎盤のアディポネクチン受容体を中心とした解析と治療戦略	林 卓宏	産婦人科学講座	600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
遺伝子多型は多嚢胞性卵巣症候群の疾患感受性、薬剤応答性を規定する	馬場 剛	産婦人科学講座	1,000,000	補委	文部科学省
鼻咽腔上皮細胞と樹状細胞のクロストークによる炎症調節機構の解析	氷見 徹夫	耳鼻咽喉科学講座	2,800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
さっぽろバイオクラスター構想"Bio-S" アレルギー・炎症反応評価による機能性食品素材開発	氷見 徹夫	耳鼻咽喉科学講座	10,000,000	補委	北海道科学技術総合 振興センター
小児睡眠時無呼吸症候群患者の手術による認知機能、睡眠行動の改善についての検討	新谷 朋子	耳鼻咽喉科学講座	400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ヒト鼻粘膜上皮のM細胞の同定と分化誘導: DDSの新しい標的として	郷 充	耳鼻咽喉科学講座	1,300,000	補委	文部科学省
新種細菌アオイロコッカスに関する基礎的、臨床的研究	播磨谷 敦	耳鼻咽喉科学講座	1,400,000	補委	文部科学省
肺サーファクタント蛋白によるマトリックスメタロプロテアーゼ活性制御機構の解明	光澤 博昭	耳鼻咽喉科学講座	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
小児アレルギー性鼻炎の発症および重症化の寄与因子の検討～早期介入への戦略	金泉 悦子	耳鼻咽喉科学講座	500,000	補委	文部科学省
咽頭癌におけるタイト結合タンパクClaudinの浸潤関連因子としての役割	近藤 敦	耳鼻咽喉科学講座	2,000,000	補委	文部科学省
アレルギー性鼻炎における樹状細胞活性化因子TSLPの役割	亀倉 隆太	耳鼻咽喉科学講座	2,000,000	補委	文部科学省
運動器の慢性難知性疼痛の機序解明と治療法の確立	山下 敏彦	整形外科科学講座	4,800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立に関する研究	和田 卓郎	整形外科科学講座	750,000	補委	厚生労働省
ヒト断端神経種のプロテオミクス解析による神経因性疼痛の発症因子の解明	和田 卓郎	整形外科科学講座	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
骨軟部肉腫の新規腫瘍抗原を標的としたペプチドワクチン療法の開発	和田 卓郎	整形外科科学講座	7,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
プロテオミクスアプローチによる末梢神経再生に関与する因子の探索	相木 比古乃	整形外科科学講座	1,300,000	補委	文部科学省
悪性腫瘍化学療法による神経因性疼痛の神経科学基盤の解明	並木 昭義	麻酔学講座	8,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

超短時間作用性選択的 $\beta$ 1遮断薬の虚血心筋保護作用機序	金谷 憲明	麻酔学講座	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
慢性タバコ喫煙による気道過敏症亢進モデルを用いた麻酔薬の影響と機序の解明	山蔭 道明	麻酔学講座	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
気道過敏性亢進モデルを用いた麻酔薬の影響と機序の解明	山蔭 道明	麻酔学講座	2,000,000	補委	武田科学振興財団
細胞感覚分子群に対する作用に注目した新たな麻酔機序研究	川股 知之	麻酔学講座	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
内因性大麻受容体活性化による鎮痛機構の神経科学的基盤と難知性がん疼痛治療への応用	川股 知之	麻酔学講座	4,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
神経因性疼痛における脊髄グルタミン酸トランスポーター機能可塑的变化の役割	山内 正憲	麻酔学講座	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
骨がん性疼痛に対する遺伝子治療の開発	新山 幸俊	麻酔学講座	900,000	補委	文部科学省
難知性がん疼痛の脊髄機序の解明と機序に基づいた治療法の開発	古瀬 晋吾	麻酔学講座	900,000	補委	文部科学省
カンナビノイドによる脊髄鎮痛の機序解明	木谷 友洋	麻酔学講座	1,000,000	補委	文部科学省
手術後痛における個人差の機序の解明とテーラーメイド鎮痛の確立	杉野 繁一	麻酔学講座	2,700,000	補委	文部科学省
麻酔薬が心筋虚血誘発性不整脈発生に及ぼす影響と機序の解明	平田 直之	麻酔学講座	2,900,000	補委	文部科学省
尿路上皮癌に対するサバイビン・ペプチドを用いた癌ワクチン療法の確立	塚本 泰司	泌尿器科学講座	1,900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
前立腺がんのリスク評価と化学予防	塚本 泰司	泌尿器科学講座	800,000	補委	筑波大学
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	塚本 泰司	泌尿器科学講座	300,000	補委	厚生労働省
性感染症に関する特定感染症予防指針の推進に関する研究	塚本 泰司	泌尿器科学講座	1,000,000	補委	厚生労働省
希少悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同試験	塚本 泰司	泌尿器科学講座	1,200,000	補委	厚生労働省
Androgenの生殖器以外の作用に関する臨床的研究	小林 皇	泌尿器科学講座	2,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
特定地域における高齢男子の下部尿路症状の自然史の縦断的検討	舛森 直哉	泌尿器科学講座	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
勃起(海綿体)神経の再生医療—神経栄養因子による遺伝子治療と神経再生の機序の研究	加藤 隆一	泌尿器科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
下部尿路症状と勃起傷害の関連についての検討	田中 俊明	泌尿器科学講座	1,900,000	補委	文部科学省
ストレス記憶保持細胞(神経幹細胞)を用いた脳解析—キレる脳と神経回路網—	斉藤 利和	神経精神医学講座	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
アルコール依存症の病態と治療法に関する研究	斉藤 利和	神経精神医学講座	5,900,000	補委	厚生労働省

神経再生とうつ病治療: 抹消血因子と内在性神経幹細胞活性化による新治療ストラテジー	橋本 恵理	神経精神医学講座	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
統合失調症の新たな治療法開発—薬物・細胞combined療法は有効か—	鶴飼 渉	神経精神医学講座	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
レビー小体型認知症の病態解明と新規治療薬としての抑肝散の有用性とその作用機序	館野 勝	神経精神医学講座	1,700,000	補委	文部科学省
アルコール依存症とうつ病の病態基盤の接点—小胞体の傷害による神経幹細胞の機能異常	石井 貴男	神経精神医学講座	1,400,000	補委	文部科学省
神経幹細胞移植を用いた胎児性アルコール症候群の治療—脳神経回路網の再生の試み	吉永 敏弘	神経精神医学講座	1,500,000	補委	文部科学省
統合失調症に対する自己細胞移植療法の可能性—有効性に関する事前体外診断法の確立—	小野 貴文	神経精神医学講座	1,700,000	補委	文部科学省
生体内軟骨再生技術の開発	白石 将毅	神経精神医学講座	1,100,000	補委	文部科学省
うつ病の病態と血小板放出因子との接点	渡邊 公彦	神経精神医学講座	1,700,000	補委	文部科学省
放射線感受性におけるヒストン修飾とゲノム損傷応答のリンケージ解析	晴山 雅人	放射線医学講座	4,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
早期に臨床応用が可能な放射線増感剤の開発	晴山 雅人	放射線医学講座	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立のための臨床試験	晴山 雅人	放射線医学講座	400,000	補委	東北大学
定位放射線治療による予後改善に関する研究	晴山 雅人	放射線医学講座	274,000	補委	厚生労働省
放射線治療気管の短縮に関する多施設共同臨床試験の確立に関する研究	晴山 雅人	放射線医学講座	500,000	補委	厚生労働省
放射線治療の個別化に向けたDNA二重鎖切断修復に関わる蛋白質の研究	坂田 耕一	放射線医学講座	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
骨髄傷害防止の観点からみた胸部下行・腹胸部大動脈瘤外科治療ないしはステンドグラフト治療体系の確立(H20—医療—一般—017)	兵頭 秀樹	放射線医学講座	300,000	補委	厚生労働省
ギメラシルによる放射線増感効果の分子メカニズムの解析	染谷 正則	放射線医学講座	1,700,000	補委	文部科学省
電子スピン共鳴装置を用いた腫瘍内酸素濃度分布の画像化	玉川 光春	放射線医学講座	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
1H-MRS法による骨格筋の細胞内・外脂肪量と加齢・体組成、体力、運動と脂質代謝	原田 邦明	放射線部	100,000	補委	小樽商科大学
網膜変性症の分子機構の完全解明	大黒 浩	眼科学講座	3,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
錘体視物質のリン酸化を検出する新規の網膜錘体視細胞障害判定システムの確立	大黒 浩	眼科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
網膜グリア細胞を標的とした新しい糖尿病網膜症の予防および治療法の検討	錦織 奈美	眼科学講座	1,800,000	補委	文部科学省
長期ニコチン受容体刺激により誘発される生体機能変化—ニコチン受容体に連関する生存シグナル、ニューロン機能の解析—	下濱 俊	神経内科医学講座	5,000,000	補委	喫煙科学研究財団

がん診療を標準化するための病理診断基準の確立に関する研究	長谷川 匡	病理診断学	1,000,000	補委	厚生労働省
高感度抗IAP抗体スクリーニングアレイの開発と癌診断への応用	渡邊 直樹	臨床検査医学	3,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
咀嚼が脳梗塞後遺障害のリハビリテーションに果たす役割	田中 真樹	臨床検査医学	150,000	補委	北海道医療大学
障害者における摂食・嚥下機能訓練とその評価に関する研究	田中 真樹	臨床検査医学	150,000	補委	北海道医療大学
救急医療体制の推進に関する研究	浅井 康文	救急集中治療医学	900,000	補委	厚生労働省
有機リン酸(農薬・神経剤)中毒に対する治療薬・予防薬の神経学的作用機序の解明	成松 英智	救急集中治療医学	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
半側空間無視に対するプリズム順応を用いた治療に関する検討	太田 久晶	リハビリテーション医学講座	800,000	補委	文部科学省

計 134件

## 2 論文発表等の実績

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Pharmacogenomics 2008, 9: 1917-1928	DNA methylation and cancer pathways in gastrointestinal tumors.	鈴木 拓	第一内科
Anticancer Agents Med Chem 2008, 8:470-480	Novel molecular-targeted therapeutics for the treatment of cancer	安井 寛	第一内科
Br J Cancer 2008, 98:1147-1156	Frequent epigenetic inactivation of Wnt antagonist genes in breast cancer.	鈴木 拓	第一内科
J Rheumatol 2008, 35:365-367	Facial cutaneous and parotid gland involvement in Wegener's granulomatosis.	山本 元久	第一内科
Scand J Rheumatol 2008, 37:315-316	Gastric antral vascular ectasia (GAVE) associated with systemic sclerosis.	山本 元久	第一内科
J Gastroenterol 2008, 43:378-389	Frequent epigenetic inactivation of SFRP genes in hepatocellular carcinoma.	高木 秀安	第一内科
多発性骨髄腫の治療 医薬ジャーナル社. 2008, 143-155	3. 化学療法. みんなに役立つ多発性骨髄腫の基礎と臨床	石田 禎夫	第一内科
多発性骨髄腫診療ハンドブック 中外医学社. 2008, 23-24	新規治療薬の作用点	林 敏昭	第一内科
リウマチ科 2008, 39:229-239	高齢発症RAに対する対処法.	高橋 裕樹	第一内科
内科 2008, 101:688-693	抗リウマチ薬(DMARDs)の選び方と使い方	高橋 裕樹	第一内科
総合臨床 57巻増刊,1021-1022	【処方計画法】消化器疾患 消化管間質腫瘍(解説/特薬)	篠村 泰久	第一内科
G.I. Research 2008, 16:447-449	(医学用語解説) 遺伝子不安定性	山本 博幸	第一内科
日本分子腫瘍マーカー 研究会誌 2008, 23:37-38	消化器癌におけるDKK遺伝子のエピジェネティックな不活化	鈴木 拓	第一内科
内科 2008, 102:135-140	目でみる症例 全身性エリテマトーデス(漿膜炎)	高橋 裕樹	第一内科
臨床免疫・アレルギー 科 2008, 50:123-12	IgG4-related plasmacytic disease/systemic IgG4-related plasmacytic syndrome (SIPS).	山本 元久	第一内科
Cancer Sci 2008, 99:1626-1632	Overexpression of cysteine proteinase inhibitor cystatin 6 promotes pancreatic cancer growth	細川 雅代	第一内科
日本消化器病学会誌 2008, 105:1648-1655	経回腸静脈静脈瘻閉塞術にて止血しえた肝管空腸吻合部静脈瘻出血の1例.	阿久津 典之	第一内科
Hypertens Res. 2008 Jul;31(7)	Incidence of hypertension in individuals with abdominal obesity in a rural Japanese population: the Tanno and Sobetsu study.	齊藤重幸	第二内科
Hypertens Res. 2008 Jul;31(7):	Differences in insulin action and secretion, plasma lipids and blood pressure levels between impaired fasting glucose and impaired glucose tolerance in	島本和明	第二内科
Clin Exp Pharmacol Physiol. 2008 Jul;35(7):	Limitation of infarct size by erythropoietin is associated with translocation of Akt to the mitochondria after reperfusion.	三浦哲嗣	第二内科
Circ J. 2008 Aug;72(8):	Relationship between coronary events and serum cholesterol during 10 years of low-dose simvastatin therapy: long-term efficacy and safety in Japanese	島本和明	第二内科
Circ Res. 2008 Aug 1;103(3):	Glycogen synthase kinase-3 inactivation is not required for ischemic preconditioning or postconditioning in the mouse.	三浦哲嗣	第二内科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Cardiovasc Res. 2008 Oct 1;80(1):	Adenine nucleotide translocator, a mitochondrial carrier protein, and fate of cardiomyocytes after ischaemia/reperfusion.	丹野雅也	第二内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2008 Nov;295(5):	Ser9 phosphorylation of mitochondrial GSK-3beta is a primary mechanism of cardiomyocyte protection by erythropoietin against oxidant-induced apoptosis.	三浦哲嗣	第二内科
Basic Res Cardiol. 2008 Nov;103(6):	Limitation of myocardial infarct size in the clinical setting: current status and challenges in translating animal experiments into clinical therapy.	三浦哲嗣	第二内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2009 Feb;296(2)	Roles of Cx43-associated protein kinases in suppression of gap junction-mediated chemical coupling by ischemic preconditioning.	矢野俊之	第二内科
J Pharmacol Sci. 2009 Feb;109(2)	Drug development targeting the glycogen synthase kinase-3beta (GSK-3beta)-mediated signal transduction pathway: role of GSK-3beta in	三浦哲嗣	第二内科
Echocardiography. 2009 Mar;26(3):	Quantitative assessment of left ventricular and left atrial functions by strain rate imaging in diabetic patients with and without hypertension	島本和明	第二内科
Endoscopy 2008 Sep;40 Suppl 2	Successful treatment for gastro-intestinal bleeding of Osler-Weber-Rendu disease by argon plasma coagulation using double-balloon enteroscopy.	佐藤康史	第4内科
Hepatology 2008 Sep;48(3)	Treatment of hepatocellular carcinoma by AdAFPep/rep, AdAFPep/p53, and 5-fluorouracil in mice.	佐川保	第4内科
Int J Hematol 2008 Jul;88(1)	A safety, pharmacokinetic and pharmacodynamic investigation of deferasirox (Exjade, ICL670) in patients with transfusion-dependent anemias and iron-overload: a	加藤淳二	第4内科
Int J Hematol 2008 Jul;88(1)	Body iron metabolism and pathophysiology of iron overload.	加藤淳二	第4内科
J Gastroenterol Hepatol 2008 Mar;23 Suppl 1	Dysregulation of systemic iron metabolism in alcoholic liver diseases.	加藤淳二	第4内科
Int J Hematol 2008 Jul;88(1)	Japanese epidemiological survey with consensus statement on Japanese guidelines for treatment of iron overload in bone marrow failure syndromes.	新津洋司郎	第4内科
J Immunol 2008 Jul 1;181(1)	Apoptosis supercedes necrosis in mitochondrial DNA-depleted Jurkat cells by cleavage of receptor-interacting protein and inhibition of lysosomal cathepsin.	佐藤 勉	第4内科
Exp Hematol 2008 Sep;36(9)	Interaction with human stromal cells enhances CXCR4 expression and engraftment of cord blood Lin(-)CD34(-) cells.	小船雅義	第4内科
Intern Med 2008;47(11)	Successful treatment of autoimmune pancreatitis complicated with autoimmune thrombocytopenia and interstitial pneumonia by prednisolone.	村瀬和幸	第4内科
Intern Med 2008;47(8)	Successful treatment of chronic myeloproliferative disease-unclassifiable (CMPD-U) with no chromosomal abnormalities by imatinib mesylate.	井山 諭	第4内科
Nat Biotechnol 2008 Apr;26(4)	Resolution of liver cirrhosis using vitamin A-coupled liposomes to deliver siRNA against a collagen-specific chaperone.	佐藤康史	第4内科
Jpn J Clin Oncol 2008 Apr;38(4)	A Phase I trial of arterial infusion chemotherapy with gemcitabine and 5-fluorouracil for unresectable advanced pancreatic cancer after vascular supply	宮西浩嗣	第4内科
Int J Hematol 2008 May;87(4)	Ex vivo large-scale generation of human red blood cells from cord blood CD34+ cells by co-culturing with macrophages.	藤見章仁	第4内科
Hepatol Res 2008 May;38(5)	Case report of a focal nodular hyperplasia-like nodule present in cirrhotic liver.	高橋 祥	第4内科
Clin Cancer Res 2008 Jan 1;14(1)	Aberrant crypt foci as precursors of the dysplasia-carcinoma sequence in patients with ulcerative colitis.	荃津武大	第4内科
Leukemia 2008 Feb;22(2)	Combination therapy of an anticancer drug with the FNIII14 peptide of fibronectin effectively overcomes cell adhesion-mediated drug resistance of acute	松永卓也	第4内科
Stem Cells 2008 Feb;26(2)	Adenoviral vector-mediated transfer of the Indian hedgehog gene modulates lymphomyelopoiesis in vivo.	佐藤康史	第4内科
Neurosci Res 2008 62(4)	Synergistic effect of galantamine on nicotine-induced neuroprotection in hemiparkinsonian rat model	Yanagida T, Takeuchi H, Kitamura Y et al	神経内科



雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurosci Res 2009 87(2)	Nicotinic receptor stimulation protects nigral dopaminergic neurons in rotenone-induced Parkinson's disease models	Takeuchi H, Yanagida T, Inden M et al	神経内科
J Neurol Sci 2009 276(1-2)	Age at onset influences on wide-ranged clinical features of sporadic amyotrophic lateral sclerosis	Atsuta N, Watanabe H, Ito M et al	神経内科
J Neurochem 2009 108(2)	N-cadherin-based adhesion enhances Abeta release and decreases Abeta42/40 ratio	Uemura K, Lill CM, Banks M et al	神経内科
Eur J Neurol 2009 16(2)	Diagnostic accuracy of cardiac metaiodobenzylguanidine scintigraphy in Parkinson disease	Sawada H, Oeda T, Yamamoto K et al	神経内科
Biol Pharm Bull 2009 32(3)	Nicotinic receptor-mediated neuroprotection in neurodegenerative disease models	Shimohama S	神経内科
Am J pathol 2009 175(1)	Involvement of WAVE accumulation in Abeta/APP pathology-dependent tangle modification in Alzheimer's disease	Takata K, Kitamura Y, Nakata Y et al	神経内科
Liver Int 2009;29(7):979-87.	Impaired liver regeneration with humoral and genetic disturbances in urinary trypsin inhibitor-deficient mice.	Nobuoka T	第一外科
Hepatogastroenterology. 2008;55(88):2188-	Rapid recovery of postoperative liver function after major hepatectomy using saline-linked electric cautery.	Mizuguchi T	第一外科
Int J Oncol. 2009 Feb;34:361-70.	Predicting response to docetaxel neoadjuvant chemotherapy for advanced breast cancers through genome-wide gene expression profiling.	Hirata K	第一外科
Histochem Cell Biol. 2009;131(3):411-24.	Knockdown of tight junction protein claudin-2 prevents bile canalicular formation in WIF-B9 cells.	Hirata K	第一外科
Surg Today. 2008;38(11):1021-8.	Surgery versus radiochemotherapy for resectable locally invasive pancreatic cancer: final results of a randomized multi-institutional trial.	Hirata K	第一外科
J Gastrointest Surg. 2009;13:325-33.	Prognostic impact of surgical complications and preoperative serum hepatocyte growth factor in hepatocellular carcinoma patients after initial	Mizuguchi T	第一外科
Breast Cancer. 2009;16:49-57.	The treatment outcome of patients undergoing breast-conserving therapy: the clinical role of postoperative radiotherapy.	Hirata K	第一外科
Jpn J Antibiot. 2008;61(3):122-71.	Bacteria isolated from surgical infections and its susceptibilities to antimicrobial agents—special references to bacteria isolated between April 2006 and	Hirata K	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg. 2008;15:403-9.	Efficient transformation of small hepatocytes into insulin-expressing cells by forced expression of Pdx1.	Mizuguchi T	第一外科
Gan To Kagaku Ryoho 2008 Jul;35:1239-42.	A case of advanced pancreatic cancer successfully treated by combined chemotherapy of S-1 and gemcitabine	Hirata K	第一外科
Surg Today 2008;38:623-32	Efficacy of a continuous venous infusion of fluorouracil and daily divided dose cisplatin as adjuvant therapy in resectable colorectal cancer: a prospective randomized	Hirata K	第一外科
Surg Today 2008;38:463-8.	Living donor liver transplantation in a patient with giant hepatic hemangioma complicated by Kasabach-Merritt syndrome: report of a case.	Meguro M	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg 2008;15:310-7	In vitro transformation of adult rat hepatic progenitor cells into pancreatic endocrine hormone-producing cells.	Mizuguchi T	第一外科
J Transl Med 2008 May 10;6:24.	Clinical and immunological evaluation of anti-apoptosis protein, survivin-derived peptide vaccine in phase I clinical study for patients with advanced or recurrent	Hirata K	第一外科
J Gastrointest Surg 2008;12:1185-92.	Prospective nonrandomized comparison between pylorus-preserving and subtotal stomach-preserving pancreaticoduodenectomy from the perspectives of DGE	Kimura Y	第一外科
J Cell Biochem. 2008;104(1):68-81.	Functional expression of organic anion transporters in hepatic organoids reconstructed by rat small hepatocytes.	Hirata K	第一外科
北海道外科雑誌 2008;53(1):8-19	カレントトピックス 診療ガイドラインをどう活用するか—医学・医療におけるガイドラインの活用法と今日の当該領域の国策—	平田 公一	第一外科
Surgery Frontier 2008; 15(3):229-230	特集どこまで切除するか—量・悪性境界型腫瘍性病変—特集によせて「臨床の現場からみた癌化の基礎研究と細胞診、組織診への期待」	平田 公一	第一外科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
臨床消化器内科 2008;23(10):1395-	特集 膵炎診療をめぐる最近の動向—ガイドライン、 診断基準を含めて「急性膵炎診療ガイドライン」改 訂第2版—改訂の要点とその解説・問題点	平田 公一	第一外科
Biotherapy 2008;22(5):271-285	総説 免疫細胞療法の現状、問題点と展望	平田 公一	第一外科
腫瘍内科 2008;2(5):380-386	日本癌治療学会とがん診療ガイドライン	平田 公一	第一外科
日本腹部救急医学会 雑誌 2009;29(1):11-20	日本腹部救急医学会の役割と展望—腹部救急疾 患診療ガイドライン普及への貢献と臨床データベ ースの構築を中心に—	平田 公一	第一外科
Digestive Surgery 2008;9(1):5	脂肪肝は広範囲肝切除後の合併症の危険因子:症 例対照研究	平田 公一	第一外科
消化器外科 Nursin g 2009;春季増刊:103-	【イラストでカンタン理解!消化器外科疾患30の病態生理 とケア】 腸 虚血性腸疾患	古畑 智久	第一外科
北海道外科雑誌 2008;53(1):20-24	診療ガイドラインをどう活用するか 大腸癌治療ガイド ラインの活用の現状	古畑 智久	第一外科
日本膵・胆管合流異 常研究会プロシー 2008;31:17-18	膵・胆管合流異常症根治術後6年で発生した残膵・ 胆管IPMNの一例	木村 康利	第一外科
日本腹部救急医学会 雑誌 2008;28(4):557-560	【改定された「急性膵炎の診療ガイドライン」】 診断 基準のコンセプト	木村 康利	第一外科
北海道外科 2008;53:25-31	診療ガイドラインをどう活用するか 乳癌—外科療 法を中心に—	大村 東生	第一外科
北海道新聞 生活面 2008;13:00	WithYou北海道「乳がんケア 本音で討論」	大村 東生	第一外科
Biotherapy 2009;23:128-135	乳癌におけるバイオマーカー	鈴木やすよ	第一外科
外科治療 2009;99(3):259-	創傷処置の基本と実際	亀嶋 秀和	第一外科
外科治療 2008;99:259-265	創傷処置の基本と実際	亀嶋 秀和	第一外科
消化器外科 2008;31(5):744-75	噴門側胃切除・空腸嚢間置術	信岡 隆幸	第一外科
消化器外科 2008;31:1123-31	膵頭部浸潤性膵肝癌に対する外科治療	永山 稔	第一外科
侵襲をめぐるQ&A 2008;15:463-66	Q39 外科的ストレスにおける一酸化窒素(NO)の 役割について教えてください	永山 稔	第一外科
tumor res 2008;43:31-37	Short- and midterm outcomes of laparoscopy assisted colectomy for colon and rectosigmoid cancer	T. Nishidate	第一外科
外科 2008;70(8):836-842	再発大腸癌の診断・治療—最近の進歩 局所再発 癌の診断	西館 敏彦	第一外科
J Gastrointest Surg 2008;21(7):1185-92	Prospective nonrandomized comparison between pylorus- preserving and subtotal stomach-preserving pancreaticoduodenectomy from the perspectives of DGE occurrence and postoperative digestive functions.	秋月 恵美	第一外科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
胆膵の生理機能 2008;24:19-23	術後膵・消化管ホルモン動態からみたSSPPD・ PPPD症例の検討	秋月 恵美	第一外科
消化器癌の外科治療 2008:156-159	4.膵癌や胆道癌による黄疸と減黄	山口 洋志	第一外科
腎と透析 2008;65:355-359	血液浄化療法2009. 血液浄化療法の臨床. 急性血 液浄化療法の適応. 重症急性膵炎.	巽 博臣	第一外科
ICUとCCU 2008;32:176-178	肺酸素化能が改善するPMX-DHPの至適施行時間 と適応症例は?	巽 博臣	第一外科
人工呼吸 2008;25:181	人工呼吸管理中のMODS症例に対する栄養管理戦 略~血糖値管理と腸管機能の維持の重視~	巽 博臣	第一外科
International Journal of Clinical Oncology 2008;in press	Clinical compliance to oral uracil/tegafur (UFT) plus leucovorin (LV) regimen as adjuvant chemotherapy in Japanese colorectal cancer	目黒 誠	第一外科
消化器外科学レ ビュー2009 2009:236-242	外科侵襲とサイトカイン	目黒 誠	第一外科
消化器外科 2008;31(9):1431-	外科侵襲が免疫機構に与える影響 中枢神経・内 分泌経路の役割を中心に	目黒 誠	第一外科
消化器外科 2008;31(10):1577-	侵襲後の免疫系変化 Th1/Th2バランスから cytokine modulationへ	目黒 誠	第一外科
消化器外科 2008;31(11):1693-	侵襲後の反応における遺伝子多型の関わり	目黒 誠	第一外科
消化器外科 2009;32(1):115-123	外科侵襲における免疫栄養の役割	目黒 誠	第一外科
消化器外科 2009;32(2)245-254	侵襲後の病態と血液浄化療法の役割 SIRS・ CARS・MARSからSLIRS・LISISへ	目黒 誠	第一外科
J Thorac Cardiovasc Surg 2008Nov;136(5):1357 -63, 1363.e1-2. Epub 2008 Sep 24	Is lung cancer resection indicated in patients with idiopathic pulmonary fibrosis?	Watanabe A, Higami T, Ohori S, Koyanagi T, Nakashima S, Mawatari T	第二外科
Eur J Cardiothorac Surg 2009 Jan;35(1):177. Epub 2008 Nov 7. No abstract available.	Perforation of the duodenum by a vascular prosthesis following hybrid repair of a thoracoabdominal aortic aneurysm.	Ito T, Kurimoto Y, Kawaharada N, Higami T	第二外科
Surg Today 2008;38(10):926-30. Epub 2008 Sep 27	An experimental evaluation of the lactate concentration following mesenteric ischemia.	Kurimoto Y, Kawaharada N, Ito T, Morikawa M, Higami T, Asai Y	第二外科
Eur J Cardiothorac Surg 2008 May;33(5):812- 8. Epub 2008 Mar 14	Is video-assisted thoracoscopic surgery a feasible approach for clinical N0 and postoperatively pathological N2 non-small cell lung cancer?	Watanabe A, Mishina T, Ohori S, Koyanagi T, Nakashima S, Mawatari T, Kurimoto Y, Higami T	第二外科
Circ J 2008 Mar;72(3):449- 53	Management of left subclavian artery in endovascular stent-grafting for distal aortic arch disease	Kurimoto Y, Ito T, Harada R, Hase M, Kuwaki K, Kawaharada N, Morishita K, Higami T,	第二外科
Ann Thorac Surg 2008 Feb;85(2):513-9	Does intensive management of cerebral hemodynamics and atheromatous aorta reduce stroke after coronary artery surgery	Nakamura M, Okamoto F, Nakanishi K, Maruyama R, Yamada A, Ushikoshi S, Terasaka S, Kuroda S, Sakai K,	第二外科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
CIRCULATION Up-to-Date(1881-3585) 3巻3号 2008.09	【大動脈ステントグラフトにおける治療最前線】 外傷性大動脈損傷に対するステントグラフト内挿術(解説/特集)	栗本義彦(札幌医科大学 救急・集中治療医学講座), 浅井康文, 樋上	第二外科
日本心臓血管外科学会雑誌(0285-1474) 37巻6号 2008.11	開窓術を併用した解離性大動脈瘤人工血管置換末梢側吻合部の瘤拡大に対しステントグラフト治療が奏功した1例(原著論文/症例報告/抄録あり)	伊藤寿朗(札幌医科大学 第二外科), 栗本義彦, 川原田修義, 中島智博, 田淵正樹, 上原麻由子, 柳清洋祐, 山内昭彦, 馬場俊雄, 樋上哲哉	第二外科
日本血管外科学会雑誌(0918-6778) 17巻4号 2008.06	胸腹部大動脈ホモグラフト置換部破裂に対しステントグラフト内挿術にて救命した1例(原著論文/症例報告/抄録あり)	伊藤寿朗(札幌医科大学 第二外科), 川原田修義, 原田亮, 黒田陽介, 栗本義彦, 樋上哲哉	第二外科
日本老年医学会雑誌(0300-9173) 45巻3号 2008.05	高齢者と心臓外科(解説)	樋上哲哉	第二外科
日本血管外科学会雑誌(0918-6778) 17巻3号 2008.04	5. Stanford B型大動脈解離に合併した両側下肢虚血と腎機能障害に対して緊急ステントグラフト内挿術を施行した1例(原著論文/症例報告/抄録あり)	前田俊之(札幌医科大学 第二外科), 栗本義彦, 大澤久慶, 川原田修義, 森下清文, 樋上哲哉	第二外科
脈管学 2008;48(3):283-92	救命救急センターにおける胸部大動脈ステントグラフトの役割	栗本義彦, 浅井康文, 長谷守, 奈良理, 森和久, 山直也, 伊藤寿朗, 馬場俊雄, 川原田修義, 樋上哲哉	第二外科
北海道整災外 49:31-34, 2008	北海道のスポーツ医学ー現状と課題ー スピードスケートにおけるスポーツ障害	渡邊耕太	整形外科
北海道整災外 50:13-19, 2008	骨肉腫におけるTRAILによるアポトーシス誘導能調節分子の同定	武田真太郎	整形外科
北海道整災外 50:81-84, 2008	手根管症候群を呈した結核性屈筋腱鞘滑膜炎の1例	瀧村浩介	整形外科
北海道整災外 50:85-87, 2008	指節骨に発生した骨サルコイドーシスの1例	宮川 健	整形外科
北海道整災外 50:97-100, 2008	骨脆弱性骨折における2次性骨折発症予防のための薬物使用状況について	畠山尚子	整形外科
整・災外 51:80-81, 2008	手関節周辺部における橈骨神経知覚枝損傷の手術治療. 神経縫合・剥離術・神経腫切除術	青木光広	整形外科
整・災外 51:365-368, 2008	Link MPシステムを用いた人工股関節再置換術の2例	江森誠人	整形外科
整・災外 51:483-486, 2008	腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下腰椎後方除圧術後に生じた椎間関節嚢腫の1例	河村秀仁	整形外科
整・災外 51:1257-1262, 2008	婦人科疾患に伴う腰・下肢痛	吉本三徳	整形外科
整・災外 51:1529-1535, 2008	肘関節鏡に必要な橈骨・正中神経の機能解剖:ポータル操作による神経損傷を回避するために	青木光広	整形外科
整・災外 51:1617-1620, 2008	ポリオによる大腿骨低形成を伴った大腿骨転子部骨折の1例	江森誠人	整形外科
肩関節 32:619-622, 2008	腱板滑液包側不全断裂と腱板完全断裂に対する鏡視下修復術の比較検討	堀籠圭子	整形外科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
日本手の外科学会 24:709-711, 2008	手根管開放術前後における知覚評価 -Neurometerを用いた電流知覚閾値による検討-第2報-	大木 豪介	整形外科
日本手の外科学会 24:980-983, 2008	拡散強調MRIを用いた手根管症候群における画像診断 の試み	堀 清成	整形外科
日本手の外科学会 24:1077-81, 2008	尺骨短縮術の治療成績	織田 崇	整形外科
関節鏡 33:211-216, 2008	肩甲上神経麻痺を呈した棘下切痕部ガングリオンの鏡視 所見	廣瀬 聡明	整形外科
日本人工関節学会誌 38:100-101, 2008	円筒型ステムと四角型ステムの大腿骨骨質の変化	名越 智	整形外科
日本人工関節学会誌 38:446-447, 2008	人工股関節置換術後のステム周辺骨折の治療経験	中山 央	整形外科
日本人工関節学会誌 38:450-451, 2008	高位脱臼性股関節症における臼蓋形態の検討	館田 健児	整形外科
日本膝関節学会誌 32:318-322, 2008	健常者に生じた大腿四頭筋腱断裂の3例	佐藤 貴博	整形外科
Osteoporosis Japan 16:640-643, 2008	Hip Structure Analysisを用いた骨粗鬆症の治療評価	高田 潤一	整形外科
Hip Joint 34:154-157, 2008	大腿骨頭壊死症に対する大腿骨頭後方回転骨切り術の 臨床成績	佐々木 幹人	整形外科
整形外科 59:351-355, 2008	骨形成不全に対するビスホスホネート治療の10年間のま とめ	宮川 健	整形外科
整形外科 59:571-576, 2008	腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下片側侵入両側除圧 術における侵入側椎間関節切除量の検討	吉本 三徳	整形外科
臨整外 43:451-456, 2008	手・肘関節鏡手術の現況と展望 上腕骨外側上顆炎に対 する鏡視下手術	辻 英樹	整形外科
臨整外 43:1131-1135, 2008	腰部脊柱管狭窄症手術後の遺残性下肢症状に対するリ マプロストアルファデクスの臨床効果	吉本 三徳	整形外科
日本脊椎脊髄病学会誌 19:759-763, 2008	腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下および顕微鏡下除 圧術の成績-3術式の比較検討-	吉本 三徳	整形外科
日本人工関節学会誌 38:450-51, 2008	高位脱臼性股関節症における臼蓋形態の検討	館田 健児	整形外科
J Bone Joint Surg 90-B:140-144, 2008	Diagnosis of peri-prosthetic infection at the hip using triple-phase bone scintigraphy	Nagoya S	整形外科
Spine 33:2483-2488, 2008	Gene expression profile of dorsal root ganglion in a lumbar radiculopathy model	Takeuchi T	整形外科
J Orthop Res 26:271-278, 2008	Clonal T-cell response against autologous pleomorphic malignant fibrous histiocytoma antigen presented by retrieved HLA-A*0206	Kimura S	整形外科
J Bone Miner Metab 26:107-9, 2008	A significant improvement in lower limb pain after treatment with alendronate in two cases of Camurati-Engelmann disease	Iba K	整形外科

雜誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
J Hand Surg [Am] 33:398-401, 2008	Sea urchin spine arthritis of the hand	Wada T	整形外科
Am J Sports Med 36:348-352, 2008	Three-dimensional analysis of ankle instability after tibiofibular syndesmosis injuries: a biomechanical experimental study	Teramoto A	整形外科
J Shoulder Elbow Surg 17:585-688, 2008	The relationship between the pressure adjacent to the ulnar nerve and the disease causing cubital tunnel syndrome	Iba K	整形外科
J Orthop Sci 13:324-327, 2008	Primary Total Hip Arthroplasty with Asian-Type AML Total Hip Prosthesis: Follow-Up for More Than 10 Years	Kaya M	整形外科
J Orthop Sci 13:379-382, 2008	Periosteal chondrosarcoma with microscopic cortical invasion	Matsumura T	整形外科
J Orthop Sci 13:383-386, 2008	Morphological changes of the dorsal root ganglion in a patient with herpes zoster seen by magnetic resonance imaging	Yoshimoto M	整形外科
J Orthop Sci 13:438-41, 2008	Changes in urinary NTX levels in patients with primary osteoporosis undergoing long-term bisphosphonate treatment	Iba K	整形外科
Clin Biomech 23:619-622, 2008	Temporary tendon strengthening by preconditioning	Teramoto A	整形外科
Cancer Sci 99: 368-375, 2008	Prognostic impact and immunogenicity of a novel osteosarcoma antigen, papillomavirus binding factor, in patients with osteosarcoma	Tsukahara T	整形外科
Curr Immunol Rev 4:235-241, 2008	Antigenic peptide vaccination: Provoking immune response and clinical benefit for cancer	Tsukahara T	整形外科
Cell Tissue Res 334:243-54, 2008	IGF-I regulates tight-junction protein claudin-1 during differentiation of osteoblast-like MC3T3-E1 cells via a MAP-kinase pathway	Hatakeyama N	整形外科
J Gene Med 10:597-609, 2008	Selective gene transfer into neurons via Na,K-ATPase beta1. Targeting gene transfer with monoclonal antibody and adenovirus vector	Ishii K	整形外科
Mol Biol cell 19:1912-21, 2008	Tight Junction Proteins Claudin-2 and -12 Are Critical for Vitamin D-dependent Ca <sup>2+</sup> Absorption between Enterocytes	Fujita H	整形外科
Orthopedics 396:396, 2008	Cup-neck impingement due to implant malposition as a possible mechanism for metallosis in metal-on-metal total hip arthroplasty	Onda K	整形外科
Plastic and reconstructive surgery 121:354-5, 2008	Vascularized metatarsophalangeal joint transfer for giant cell tumor of the proximal phalanx of the hand	Kanaya K	整形外科
Skeletal Radiol 37:1085-1090, 2008	MRI and Histological Evaluation of the Infiltrative Growth Pattern of Myxofibrosarcoma	Kaya M	整形外科
Neurosurg Rev 2008 Aug;31	(Comments)Aneurysm clipping after endovascular treatment with coils: a report of 13 cases.	Houkin K	脳神経外科
Neurosurg Rev 2008 Sep;31	(Comments)Hypoglossal artery:a review of normal and pathological features.	Houkin K	脳神経外科
Neurosurgery 2008 Sep;63	Radiological findings and clinical course of conus lipoma: implications for surgical treatment.	Koyanagi I	脳神経外科
J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008 Oct;79	Interstitial spinal cord oedema in syringomyelia associated with Chiari type I malformation.	Akiyama Y	脳神経外科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
分子脳血管病 2008 Apr;7	脳血行再建術の進歩	飯星智史	脳神経外科
分子脳血管病 2008 Apr;7	脳梗塞に対する骨髄幹細胞療法	宝金清博	脳神経外科
脳卒中の外科 2008 Apr;36	高齢者頸動脈狭窄症に対する頸動脈ステント留置術	野中 雅	脳神経外科
臨床のあゆみ 2008 Jun;76	患者自身の骨髄幹細胞移植による脳梗塞治療、国内初の臨床試験を実施して、大きな成果	宝金清博	脳神経外科
Clinical Rehabilitation 2008 Jul;17	再生医療—脳卒中—	本望 修	脳神経外科
脳外誌 2008 Jul;17	骨髄幹細胞を用いた脳梗塞の治療	本望 修	脳神経外科
脳外誌 2008 Aug;17	頭蓋血行再建のすべて	宝金清博	脳神経外科
神経治療学 2008 Sep;25	脳梗塞急性期の治療(4)再生医療(骨髄移植を中心に)	本望 修	脳神経外科
Blood 2008;111	CCL8 is a potential molecular candidate for the diagnosis of graft-versus-host disease.	Hori T, et al	小児科
J Med Virol 2008;80	Quantification of BK polyoma viruria in Japanese children and adults with hemorrhagic cystitis complicating stem cell transplantation.	Tanaka K, et al	小児科
Microbiol Immunol 2008;52:00	Diversity of staphylocoagulase and identification of novel variants of staphylocoagulase gene in Staphylococcus aureus.	Kinoshita M, et al	小児科
Pediatr Int 2008;50:00	Increased serum high-sensitivity C-reactive protein is related to hypoxia and brain natriuretic peptide in congenital heart disease.	Tomita H, et al	小児科
Int Immunol 2008;20:00	Soluble G protein of respiratory syncytial virus inhibit Toll-like receptor 3/4-mediated IFN-beta induction.	Shingai M, et al	小児科
J Dermatol Nov; 35(11): 729-31,	Postmenopausal frontal fibrosing alopecia in a Japanese woman with Sjögren's syndrome	Sato M, Saga K, Takahashi H	皮膚科
J Invest Dermatol Mar 19, 2009. [Epub ahead of print]	N-Propionyl-Cysteaminylphenol-Magnetite Conjugate(NPrCAP/M) Is a Nanoparticle for the Targeted Growth Suppression of Melanoma Cells	Sato M, Yamashita T, Ohkura M, Osai Y, Sato A, Takada T, Matsusaka H, Ono I, Tamura Y, Sato N, Sasaki Y, Ito A, Honda H, Wakamatsu K, Ito S,	皮膚科
皮膚科の臨床 50: 787-790, 2008	16年後に生じた乳癌の Delayed Cutaneous Matastasis の1例	菅 裕司, 西坂尚大, 菊地梨沙, 米田明弘, 松坂英信, 小野一郎, 山下利春, 神保孝一, 細川蒼至雄	皮膚科
皮膚科の臨床 51: 97-100, 2009	急速な経過をとった Primary Cutaneous Anaplastic Large Cell Lymphoma の1例	菅 裕司, 西坂尚大, 佐藤誠弘, 柳澤健二, 廣崎邦紀, 嵯峨賢次, 神保孝一	皮膚科
皮膚科の臨床 51:193-195, 2009	頸部軟骨母斑の1例	高田知明, 佐藤牧人, 酒本亜紀子, 神谷崇文, 山田康博, 陣野原有利恵, 小野一郎, 山下利春, 神保孝一	皮膚科
皮膚科の臨床 50:1174-1175, 2008	皮角様外観を呈した悪性黒色腫の1例	高田知明, 佐藤牧人, 酒本亜紀子, 川上聡経, 遠藤元宏, 富永晃広, 小野一郎, 山下利春, 稲尾雅代, 山田和宏, 神保孝一	皮膚科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
皮膚科の臨床 50: 1759-1761, 2008	疼痛を伴った肺癌皮膚転移の一例	加藤潤史, 高塚紀子	皮膚科
皮膚科の臨床 50: 1587-1590, 2008	伊達赤十字病院における疥癬78例の統計的検討	廣崎邦紀	皮膚科
皮膚科の臨床 50: 1025-1027, 2008	ヒト乳頭腫ウイルス16型が検出された上唇 Bowen 病の1例	菊地梨沙, 黄倉真恵, 山下利春, 神保孝一	皮膚科
皮膚科の臨床 50: 1109-1112, 2008	ウェスタンブロット法により診断されたライム病の1例	菊地梨沙, 山下利春, 橋本喜夫, 伊東拓也	皮膚科
皮膚科の臨床 50: 1185-1188, 2008	重粒子線治療を行った脈絡膜悪性黒色腫の1例	國本梨沙, 平野桃子, 菅裕司, 西坂尚大, 森 暁, 米田明弘, 山下利春, 神保孝一, 大黒 浩, 辻比呂志, 溝田 淳, 佐藤明彦	皮膚科
J Invest Dermatol 2008	Macrophage inhibitory cytokine-1 (MIC-1): A new player in the melanoma development	Yamashita T et al	皮膚科
J Invest Dermatol 128: 143-150, 2008	Rab7 regulates maturation of melanosomal matrix protein gp100/Pmel17/Silv	Kawakami A et al	皮膚科
Wound Rep Regen. In press	De novo follicular regeneration of the skin by Wnt3 and BMP2 genes introduced to dermal fibroblast and FGF2 protein	Ono I, Akasaka Y, Kamiya T, Sato M, Yamashita T	皮膚科
PEPARS 2008; 21: 36-39	【特集・皮膚腫瘍】外来治療のコツ. 石灰化上皮腫	斎藤 有, 山内 誠, 四ッ柳高敏	形成外科
形成外科 2008; 51(5): 547-553	【連載】私の手術と合併症回避のコツ. 埋没耳に対する耳介形成術	四ッ柳高敏	形成外科
形成外科 2008; 51(7): 765-773	【特集】耳介変形の治療update. 小耳症に対する再形成術	四ッ柳高敏, 山内 誠, 池田佳奈枝, 新井孝志郎, 須田徹也	形成外科
形成外科 2008; 51増刊: s94-99	II 創傷外科各論 1.急性創傷. 5)特殊な外傷. b)化学損傷	江副京理, 四ッ柳高敏	形成外科
形成外科 2008;51:1117	精神外科医としての誇り	四ッ柳高敏	形成外科
家庭医学大事典 2008;51:1973-81	耳介の形態異常, 鼻の形態異常	四ッ柳高敏	形成外科
形成外科 2008; 51(11): 1327-	手掌部の隆起性腫瘤として発生したcutaneous Rosai-Dorfman disease の一例	須田徹也, 今井章仁, 岩木宏之	形成外科
室蘭病医誌 2008; 33(1): 40-44	当科における顔面外傷症例の検討	中川嗣文, 石崎カ久	形成外科
臨小児医 2008; 56(5・6): 113-120	口唇裂・口蓋裂に対する札幌医科大学形成外科の治療方針	池田佳奈枝, 新井孝志郎, 山内誠, 四ッ柳高敏	形成外科
Burns 2009; 35(3): 383-389	Immunosuppressive effect on T cell activation by interleukin-16-and interleukin-10-cDNA-double-transfected human squamous cell line	Matsumoto Y, Fujita T, Hirai I, Sahara H, Torigoe T, Ezoe K, Saito T, Cruikshank W.W, Yotsuyanagi T, Sato N	形成外科
形成外科 2009; 52(1): 93-97	両側鼻唇溝皮弁を用いて口蓋裂術後の口蓋瘻孔を閉鎖した一例	山内 誠, 四ッ柳高敏, 江副京理, 斎藤 有, 池田佳奈枝, 中川嗣文	形成外科
形成外科 2009; 52(3): 319-324	先天性正中鼻瘻孔を伴った前頭・鼻異形成症候群の一例	三上 誠, 四ッ柳高敏, 榎熊有子, 斎藤真喜子, 渡辺庸介, 漆館聡志, 横井克憲	形成外科



雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Indian J Urol 2008 Jan-Mar	Prognostic biomarkers of renal cell carcinoma: Recent advances	Kitamura H, Tsukamoto T	泌尿器科
Int J Urol 2008 Jan; 15 (1)	Alteration of glial cell line-derived neurotrophic factor family receptor alpha-2 mRNA expression and its co-expression with neuronal nitric oxide synthase in pelvic ganglia following unilateral cavernous nerve injury	Hisasue S, Kato R, et al	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol 2008 38 (1)	Prognostic value of surgical margin status for biochemical recurrence following radical prostatectomy	Hashimoto K, Masumori N, et al.	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol 2008 38 (2)	Influence of body mass index and total testosterone level on biochemical recurrence following radical prostatectomy	Hisasue S, Yanase M, et al	泌尿器科
Urology 2008 August; 72 (2)	Acute normovolemic hemodilution for radical retropubic prostatectomy and radical cystectomy	Takayanagi A, Masumori N, et al.	泌尿器科
Int J Urol 2008 Nov 15 (11)	Clinical course linkage among different priapism subtypes: Dilemma in the management strategies	Hisasue S, Kobayashi K, et al.	泌尿器科
J Sex Med 2008 Sep; 5 (9)	Inhibition of seminal emission is the main cause of anejaculation induced by a new highly selective $\alpha 1a$ -blocker I normal volunteers	Kobayashi K, Masumori N, et al.	泌尿器科
Int J Imp Res 2008 Nov-Dec; 20 (6)	The aging males' symptoms scale for Japanese men: reliability and applicability of the Japanese version	Kobayashi K, Hashimoto K, et al.	泌尿器科
Clini Cancer Res 2008 Nov; 14 (21)	Identification of an immunogenic CTL epitope of HIFPH3 for immunotherapy of renal cell carcinoma	Sato E, Torigoe T, et al.	泌尿器科
J Infect Chemotherapy 2008 Dec; 14 (6)	Clinical efficacy of azithromycin for male nongonococcal urethritis	Takahashi S, Matsukawa M, et al	泌尿器科
J Infect Chemotherapy 2008 Dec; 14 (6)	Septic pulmonary embolism caused by <i>Candida albicans</i> after treatment for urinary multidrug-resistant <i>Pseudomonas aeruginosa</i>	Takahashi S, Uehara T, et al	泌尿器科
医学書院 2008	ワンサンアンギーナおよび血液疾患に伴うアンギーナ 今日の耳鼻咽喉科頭頸部外科治療指針 第3版	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
朝倉書店 2008	耳の年齢 からだの年齢事典 鈴木隆雄, 衛藤隆 編	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
医学書院 2008	咽喉頭異常感症 今日の治療指針2008	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
保健同人社 2008	病気の知識、頭頸部のがん. 家庭の医学	新谷朋子	耳鼻咽喉科
保健同人社 2008	病気の知識、のどの病気. 家庭の医学	新谷朋子	耳鼻咽喉科
真興交易株式会社医学出版部 57-59, 2008	顔面神経麻痺. 痛み疾患の画像診断. 表圭一編著	小西正訓	耳鼻咽喉科
真興交易株式会社医学出版部 60-67, 2008	副鼻腔炎、副鼻腔嚢胞、副鼻腔腫瘍. 痛み疾患の画像診断. 表圭一編著	小西正訓	耳鼻咽喉科
Expert Opin Ther Targets 12(4): 415-423, 2008	Cysteinyl leukotriene receptor CysLT1 as a novel therapeutic target for allergic rhinitis	Shirasaki H	耳鼻咽喉科
Allergol Int 57(1):93-96, 2008	Detection of Specific IgE Antibodies in Sera of Japanese Birch-Allergic Patients Using Recombinant Allergens Bet v 1, Bet v 2 and Bet v 4	Shirasaki H, Yamamoto T, Koyanagi Y, Watanabe N, Himi T	耳鼻咽喉科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Exp Allergy Reviews 8: 50-52,2008	Role of cysteinyl leukotriene receptor antagonists in the management of allergic rhinitis	Shirasaki H, Himi T	耳鼻咽喉科
J Infect Chemother 14:223-227, 2008	Remarkably high prevalence of fts. gene mutations in Haemophilus influenzae isolates from the upper respiratory tract infections in children of the Sapporo	Harimaya A, Yokota S, Sato K, Himi T, Fujii N	耳鼻咽喉科
J Mol Histol 39(3):265-73, 200	Expression of tight junction proteins in epithelium including Ck20-positive M-like cells of human adenoids in vivo and in vitro	Takano K, Kojima T, Ogasawara N, Go M, Kikuchi S, Ninomiya T, Kurose M, Koizumi J, Kamekura R, Murata M, Naka S, Chiba H, Himi T	耳鼻咽喉科
Liver Int 28; 534-545, 2008	Transforming growth factor-beta induces epithelial to mesenchymal transition by down-regulation of claudin-1 and the fence function in adult rat hepatocytes.	Kojima T, Takano K, Yamamoto T, Murata M, Son S, Imamura M, Yamaguchi H, Osanai M, Chiba H, Himi T, Sawada N	耳鼻咽喉科
J Pathol Jan;214(1):75-84,2008	Tonsillar crypt epithelium of palmoplantar pustulosis secretes interleukin-6 to support B-cell development via p63/p73 transcription factors	Koshiba S, Iohimiya S, Nagashima T, Tonooka A, Kubo T, Kikuchi T, Himi T, Sato N	耳鼻咽喉科
Int J Pediatr Otorhinolaryngol Extra 3: 109-112, 2008	Lingual hamartoma in a newborn with chromosome 2q terminal deletion	Seki N, Shintani T, Tsubota H, Watanabe K, Ogasawara N, Ueda Y, Himi T	耳鼻咽喉科
Inflammation and Regeneration 28(3):160-5, 2008	Expression of thymic stromal lymphopoietin (TSLP) in allergic rhinitis: Induction of tight junction proteins in nasal epithelial cells and dendritic cells by epithelial-derived TSLP	Kamekura R, Kojima T, Koizumi J, Ogasawara N, Kurose M, Takano K, Go M, Himi T, Sawada N	耳鼻咽喉科
Prostaglandins Leukot Essent Fatty Acids 78 ; 305-309, 2008	Platelet-activating factor (PAF) increases NO production in human endothelial cells — real-time monitoring by DAR-4M AM	Kikuchi M, Shirasaki H, Himi T	耳鼻咽喉科
Mol Pharmacol 74(2):432-42, 2008	Protein kinase C enhances tight junction barrier function of human nasal epithelial cells in primary culture by transcriptional regulation	Koizumi J, Kojima T, Ogasawara N, Kamekura R, Kurose M, Go M, Harimaya A, Murata M, Osanai M, Chiba	耳鼻咽喉科
臨床免疫アレルギー科 2008; 50: 173-178	花粉症と食物抗原。特集: アレルゲンの交叉反応性	朝倉光司、白崎英明、山本哲夫	耳鼻咽喉科
第34回日耳鼻夏期講習 会テキスト 2008; 15-23	診断と治療、口腔アレルギー症候群	朝倉光司	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会 会報 111:588-593, 2008	シラカバ花粉感作例における口腔アレルギー症候群を起す原因食物のクラスタリング	山本哲夫 朝倉光司 白崎英明 氷見徹夫	耳鼻咽喉科
診療と新薬 45:835-841 2008	通年性アレルギー性鼻炎患者における治療の実態調査	氷見徹夫, 大國毅, 正木智之, 長屋朋典	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科免疫アレルギー 26:1-9 2008	IgG4関連疾患における頭頸部病変の位置づけ ミクリツ病、キョットナー腫瘍、Riedel甲状腺炎の復活	氷見徹夫, 亀倉隆大, 長島勉, 山本元久, 高橋裕樹	耳鼻咽喉科
アレルギーの臨床 28:355-360 2008	【耳鼻科咽喉科領域とアレルギー】口腔アレルギー症候群	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
JOHNS 24: 427-430 2008	【手術・処置に役立つ臨床解剖】アデノイド切除術、口蓋扁桃摘出術のための臨床解剖	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床 101:73-82 2008	ミクリツ病とキョットナー腫瘍(慢性硬化性唾液腺炎)の新しい疾患概念	氷見徹夫, 金泉悦子, 小笠原徳子, 山本元久, 高橋裕樹	耳鼻咽喉科
耳喉頭頸 80:33-39 2008	耳鼻咽喉科専門研修をはじめる医師へ 症例報告発表・論文執筆のコツ, 注意点】学会発表の方法・仕方	氷見徹夫	耳鼻咽喉科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
専門医通信 96:16-17 2008	IgG4関連唾液腺疾患	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
北耳報 116:17-24 2007	唾液腺疾患の新たな概念の確立に向けて	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
アレルギーの臨床 28(1):29-33, 2008	花粉症における神経系過敏性亢進のメカニズム—神経ペプチドなどの関与	白崎英明	耳鼻咽喉科
鼻アレルギーフロンティア 8(1):32-35, 2008	アレルギー性鼻炎のプレーヤーたち—血管内皮細胞	白崎英明	耳鼻咽喉科
アレルギーと神経ペプチド 4:4-8, 2008	鼻粘膜における神経ペプチドの役割	白崎英明	耳鼻咽喉科
小児内科 vol 40, 1. 2008	閉塞型睡眠時無呼吸症候群の外科的治療	新谷朋子、氷見徹夫	耳鼻咽喉科
JOHNS 24, 9, 1283-1287, 2008	聴覚リハビリテーションの現状、聴覚障害者(児)に対する公的支給制度	新谷朋子、氷見徹夫	耳鼻咽喉科
日本臨床(0047-1852)66:2 臨床睡眠学 -----	臨床睡眠学 睡眠障害の基礎と臨床 臨床各論 睡眠関連呼吸障害群(Sleep Related Breathing Disorders) 閉塞性睡眠時無呼吸症候群 成人の閉塞性睡眠時無呼吸症候群	新谷朋子、宮崎総一郎	耳鼻咽喉科
北海道脳神経疾患研究所医誌 18:29-32, 2008	中村記念南病院における脳血管障害に伴う摂食・嚥下障害症例の検討	小西正訓, 光増智, 酒井奈美香, 齊藤晴子, 福垣就平, 岡亭治, 山田和佳子, 木村真由美, 萩原良治, 武田利	耳鼻咽喉科
日摂食嚥下リハ会誌 12:61-68, 2008	延髄腫瘍術後の嚥下障害に対し、ボイスボタン併用喉頭摘出術を行なった一例	小西正訓, 坪田大, 今井良吉, 飯出美緒, 酒井奈美香, 伊東民雄	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望 51: 補1; 32-8, 2008	粘膜のバリアと抗原サンプリング—鼻粘膜を介した新しい治療戦略にむけて—	郷 充, 小島 隆, 亀倉隆太, 小笠原徳子, 小泉純一, 黒瀬 誠, 高野賢一, 澤田典均, 氷見徹夫	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌 26:173-176. 2008	髄膜炎を発症した内耳奇形の成人症例	播摩谷敦、氷見徹夫	耳鼻咽喉科
北耳報 118:1-7. 2008	新種細菌アロイオコッカス(Alloiococcus otitidis)の中耳炎における関与について	播摩谷敦	耳鼻咽喉科
耳喉頭頸 80; 373-376, 2008	急性散在性脳脊髄炎症例におけるABRの検討	高野賢一, 吉岡 巖, 佐藤純, 小澤貴行, 大浦 淳	耳鼻咽喉科
耳喉頭頸 804; 445-448, 2008	耳下腺腫瘍手術症例の臨床統計	高野賢一, 吉岡 巖, 小澤貴行	耳鼻咽喉科
帯広厚生病院医誌 11; 76-79, 2008	自然排石をみた耳下腺唾石症例	高野賢一, 吉岡 巖, 小澤貴行, 大浦 淳	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌 第26巻 第1号 27-30	中耳結核の3症例	小笠原徳子、郷 充、氷見徹夫	耳鼻咽喉科
Prog Neuro-Psychopharmacol Biol 2008; 32(7): 1704-1707	Neuroprotective effects of Yi-Gan San against beta amyloid-induced cytotoxicity on rat cortical neurons	Tateno M, Ukai W, Ono T	神経精神科
Eur J Pharmacol 2008; 593(1-3): 36-43	Lithium-induced suppression of transcription repressor NRSF/REST: Effects on the dysfunction of neuronal differentiation by ethanol	Ishii T, Hashimoto E, Ukai W	神経精神科
J Neurol Sci 2008; 264(1-2): 27-33	Quantitative analysis of brain perfusion SPECT in Alzheimer's disease using a fully automated regional cerebral blood flow quantification software, 3DSRT	Kobayashi S, Tateno M, Utsumi K	神経精神科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Prog Neuropsychopharmacol 2008; 32: 1206-1209	Usefulness of a blood flow analyzing program 3DSRT to detect occipital hypoperfusion in dementia with Lewy bodies	Tateno M, Utsumi K, Kobayashi S	神経精神科
Neuroradiology 2008; 50: 723-727	Quantitative analysis of the effects of donepezil on regional cerebral blood flow in Alzheimer's disease by using an automated program, 3DSRT	Tateno M, Kobayashi S, Utsumi K	神経精神科
Psychiatry Clin Neurosci 2008; 62: 238	Comorbid childhood gender identity disorder in a boy with Asperger syndrome	Tateno M, Tateno Y, Saito T	神経精神科
Psychiatry Clin Neurosci 2008; 62(2): 244	Decreased blood perfusion in right thalamus after transient global amnesia demonstrated by an automated program, 3DSRT	Tateno M, Honma T, Kobayashi S	神経精神科
Psychiatry Clin Neurosci 2008; 62(6): 752	Successful olanzapine treatment of a norexia nervosa in a girl with pervasive developmental disorder-not otherwise specified	Tateno M, Teshirogi H, Kamasaki H	神経精神科
Dement Geriatr Cogn Disord 2008; 26(5): 453-457	Comparison of the usefulness of brain perfusion SPECT and MIBG myocardial scintigraphy for the diagnosis of dementia with Lewy bodies	Tateno M, Kobayashi S, Shirasaka T	神経精神科
臨床画像 2008 Mar 24(3)	救急画像診断における私の教訓症例	山直也、晴山雅人	放射線科
画像診断 2008 May 28(6)	肺癌一適応・照射野決定のための画像診断のポイントと問題点ならびに効果判定、経過観察、合併症一	廣川直樹、他	放射線科
血管イメージング 大動脈・抹消血管 2008	造影MRA Adamkiewicz動脈	兵頭秀樹、他	放射線科
日本放射線腫瘍学会誌 2008 Feb 20(2)	MLCファントムを用いた三次元放射線治療計画システムにおけるnon-dosimetric QA	館岡邦彦、他	放射線科
J Med Ultrasonics 2008 35	Wall composition analysis of the human hepatic artery by intravascular ultrasound	Hirokawa N., et. al.	放射線科
AJNR 2008 Oct 29	Assessment of Dural Arteriovenous fistulas of the cavernous sinuses on 3D dynamic MR angiography	Akiba H., et. al.	放射線科
Radiol Phys Technol 2008 June 7 <sup>th</sup> 1	Dose verifications by use of liquid ionization chamber of an electronic portal imaging device (EPID)	Tateoka K., et. al.	放射線科
泌尿器外科 2008 Oct 21(10)	T3-4N0M0前立腺癌77例の治療成績	武居史泰、晴山雅人 他	放射線科
Breast Cancer 2008 Oct 16(1)	The treatment outcome of patients undergoing breast-conserving therapy: the clinical role of postoperative radiotherapy	Oouchi A., et. al.	放射線科
映像情報Medical 2008 Oct 40(11)	頭頸部癌	中田健生、晴山雅人	放射線科
Jpn J Clin Oncol 2008 June 38(6)	Brachytherapy for oral tongue cancer: An analysis of treatment results with various biological markers	Sakata K., et. al.	放射線科
癌と化学療法 2008 Nov 35(11)	多分かつ照射の理論の臨床への応用	坂田耕一、他	放射線科
救急医学 2008 Dec 32(13)	胸部大血管損傷(疾患別:外因性疾患)	山直也、他	放射線科
Strahlenther Onkol 2008 July 184(7)	Hyperfractionated accelerated radiotherapy for T1,2 glottic carcinoma ~Consideration of time~ Does factors ~	Sakata K., et. al.	放射線科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Current Medical Imaging Reviews 2008 Jan 5(1)	Detection of the artery of Adamkiewicz before open surgery and endo-vascular aortic repair:A review	Hyodoh H., et. al.	放射線科
Can J Anaesth 2008; 55: 595-605	Cardioprotective effects of propofol in isolated ischemia-reperfused guinea pig hearts: role of KATP channels and GSK-3 $\beta$	Kamada N, Kanaya N, Hirata N, Kimura S, Namiki A	麻酔科
Neuroscience 2008; 154: 1067-76	Contribution of transient receptor potential vanilloid subfamily 1 to endothelin-1-induced thermal hyperalgesia	Kawamata T, Ji W, Yamamoto J, Niiyama Y, Furuse S, Namiki A	麻酔科
Neuroreport 2008 (in press)	Involvement of TRPV1 in endothelin-1-induced pain-like behavior	Kawamata T, Ji W, Yamamoto J, Niiyama Y, Furuse S, Omote K, Namiki	麻酔科
Am J Emerg Med 2008; 26: 738	fficacy of abdominal computed tomography and nasogastric tube in acute poisoning patients	Kimura Y, Kamada Y, Kimura S	麻酔科
J Anesth 2008; 22: 93-5	Anesthetic management of two cases of Beckwith-Wiedemann syndrome	Kimura Y, Kamada Y, Kimura S	麻酔科
Am J Emerg Med 2008; 26: 118	A patient with numerous tablets remaining in the stomach even 5 hours after ingestion	Kimura Y, Kamada Y, Kimura S	麻酔科
Acta Anesth Scand 2008; 52: 1415-22	Adenosine and adenosine uptake inhibitors potentiate the neuromuscular blocking action of rocuronium mediated by adenosine A1 receptors in isolated rat	Narimatsu E, Niiya T, Kawamata M, Namiki A	麻酔科
J Anesth 2008; 22: 74-6	Severe hyperglycemic shock associated with hepatic portal venous gas	Nishikawa K, Higuchi M, Kimura S, Shimodate Y, Namiki A	麻酔科
Br J Anaesth 2008: Nov 26. [Epub ahead of print]	SB366971, a TRPV1 antagonist, potentiates analgesic effects of systemic morphine in a murine model of bone cancer pain	Niiyama Y, Kawamata T, Yamamoto J, Furuse S, Namiki A	麻酔科
Neuroscience 2008; 151: 843-53	Down-regulation of mu opioid receptor expression within distinct subpopulations of dorsal root ganglion neurons in a murine model of bone cancer pain	Yamamoto J, Kawamata T, Niiyama Y, Omote K, Namiki A	麻酔科
Eur J Anaesthesiol 2008; 25: 67-71	Inhibitory effects of alpha-2 adrenergic agonists clonidine and dexmedetomidine on enhanced airway tone in ovalbumin-sensitized guinea pigs	Yamakage M, Iwasaki S, Satoh J-I, Namiki A	麻酔科
Anesth Analg 2008; 107: 1041-4	Continuous low dose ketamine improves the analgesic effects of fentanyl patients-controlled analgesia after cervical spine surgery	Yamauchi M, Asano M, Watanabe M, Iwasaki S, Furuse S, Namiki A	麻酔科
Eur J Anaesth 2008; 25: 450-3	Isovolaemic haemodilution decreases the shivering threshold in rabbits	Imai Y, Yamakage M, Sato H, Okuyama K, Ishiyama T, Matsukawa T	麻酔科
Arterioscler Thrombo Vasc Biol 2008; 28: 1825-30	Proteolytic Cleavage of High Mobility Group Box 1 protein by Thrombin-Thrombomodulin Complexes	Ito T, Kawahara K, Okamoto K, Yamada S, Yasuda M, Imaizumi H, Nawa Y, Meng X, Shrestha B, Hashiguchi T, Maruyama	麻酔科
Cell Tissue Res 2008; 333: 217-24	Expression of ASIC2 in ciliated cells and stereociliated cells	Kikuchi S, Ninomiya T, Kawamata T, Tatsumi H	麻酔科
Eur J Anaesthesiol 2008; 25: 805-9	Urinary bladder and oesophageal temperatures correlate better in patients with high rather than low urine flow rates during non-cardiac surgery	Sato H, Yamakage M, Okuyama K, Imai Y, Iwashita H, Ishiyama T,	麻酔科
Med Equipment Insights 2008; 1: 9-13	Influence of thermistor probe depth from the anterior nares on measurement of nasopharyngeal temperature	Sato H, Yamakage M, Okuyama K, Imai Y, Iwashita H, Masamune T, Ishiyama T, Matsukawa T	麻酔科
Urology 2008; 72: 401-5	Acute normovolemic hemodilution for radical retropubic prostatectomy and radical cystectomy	Takayanagi A, Masumori N, Kobayashi K, Kunishima Y, Takahashi A, Itoh N, Yamakage M, Namiki A, Tsukamoto T	麻酔科

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
医学教育 2008: 39 :161-168	医療におけるプロフェッショナリズムの日米医師の意識の違い	宮田靖志	地域総合
医学教育 2008: 39 :153-159	地域医療必修実習における“Significant Event Analysis(SEA)を用いた振り返り”の検討	宮田靖志	地域総合
医学教育 2009: 40: 95-104.	医師と製薬会社との関係に関するインターネット調査	宮田靖志	地域総合
札幌医学雑誌 2009: 77: 13-21	地域医療に従事する総合診療医をどう育成するか	宮田靖志	地域総合
家庭医療 2008: 14: 4-16	患者は医学生をどう見ているのか ~大学病院で医学生と関わった患者の思いに関する質的研究	山上実紀	地域総合
家庭医療 2009: 15: 4-19	総合診療医が患者との関わりの中で抱く否定的感情に関する探索的研究	山上実紀	地域総合
日本内科学会雑誌 2008;97(4);866-71	ジェネラリストと地域医療	山本和利	地域総合
Oal Oncol 2008 May,44(5)	A single-institute phase I/II trial combining nedaplatin dose escalation with a fixed dose of docetaxel for induction chemotherapy of oral squamous cell carcinoma	Miyazaki A,et al	歯科口腔外科
Cancer Sci 2008 May;99(5)	Epigenetic inactivation of RASSF2 in oral squamous cell carcinoma	Imai T,et al	歯科口腔外科
Int J Oncol 2008 June,32(6)	Epigenetic inactivation of SFRP genes in oral squamous cell carcinoma	Sogabe Y, ET al	歯科口腔外科
Carcinogenesis 2008 July, 29(7)	Cytoplasmic RASSF2A is a Pro-apoptotic mediator whose expression is epigenetically silenced in gastric cancer	Imai T, et al	歯科口腔外科
I Oral Maxillofac Surg 2008 Nov,66(11)	Clinical assessment of the relationship between the third molar and the inferior alveolar canal using panoramic images and computed tomography	Nakamori K,et al	歯科口腔外科
Oral Surg 2008 Dec,1(4)	Predetection of subclinical regional lymph node metastasis in stage I/II squamous cell carcinoma of the oral tongue based on clinical findings	Nakamori K,et al	歯科口腔外科
J Transl Med 2009 Jan,7	Comparative study on the immunogenicity between an HLA-A24-restricted cytotoxic T-cell epitope derived from survivin and that from its variant survivin-2B in oral cancer patients	Kobayashi J, et al	歯科口腔外科
道歯会誌 2009 2月, 64	ビスフォスフォネート関連顎骨壊死の臨床的検討	島西 真琴、ほか	歯科口腔外科
道歯会誌 2009 2月, 64	顎変形症患者の治療について	永井 格、ほか	歯科口腔外科
Hum Immunol 2009 Feb, 70(2)	Clonal diversity of cytotoxic T lymphocytes that recognize autologous oral squamous cell carcinoma	Kobayashi J, et al	歯科口腔外科
Pathol Int 2008 May;58(5)	Pathological evaluation of uterine leiomyomas treated with gonadotropin-releasing hormone agonist (GnRH-a) therapy: role of mast cells and a possible mechanism of GnRH-a	三橋 智子	病理部
J Orthop Sci 2008 Jul;13(4)	Periosteal chondrosarcoma with microscopic cortical invasion.	長谷川 匡	病理部
J Clin Oncol 2008 Sep;26(25)	Distinct gene-expression-defined classes of gastrointestinal stromal tumor.	長谷川 匡	病理部

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Cancer Res 2008 Nov;14(21)	Identification of an immunogenic CTL epitope of HIFPH3 for immunotherapy of renal cell carcinoma.	浅沼 広子、長谷川 匡	病理部
J Neurooncol 2008 Nov;90(2)	Immunohistochemical profiles of brain metastases from breast cancer.	長谷川 匡	病理部
Skeletal Radiol 2008 Dec;37(12)	MRI and histological evaluation of the infiltrative growth pattern of myxofibrosarcoma.	長谷川 匡	病理部
整形外科 2008年4月 59巻4号	悪性末梢神経鞘腫瘍	長谷川 匡	病理部
病理と臨床 2008年4月 28巻臨増	22. 軟部組織. 外科病理マニュアル	三橋 智子、長谷川 匡	病理部
病理と臨床 2008年7月 26巻7号	軟部肉腫における分子病理診断の役割(特集 分子病理診断の現状)	長谷川 匡	病理部
病理と臨床 2008年9月 26巻9号	Gastrointestinal stromal tumor (GIST)の悪性度診断のためのKi-67免疫組織化学染色の標準化	長谷川 匡	病理部
整形外科 2008年10月 59巻11号	横紋筋肉腫(胎児型, 胞巣型, 多形型)	長谷川 匡	病理部
Cancer Sci 2009 Jan;100(1)	Analysis of CHOP rearrangement in pleomorphic liposarcomas using fluorescence in situ hybridization.	長谷川 匡	病理部
Int J Oncol 2009 Feb;34(2)	Predicting response to docetaxel neoadjuvant chemotherapy for advanced breast cancers through genome-wide gene expression profiling.	長谷川 匡	病理部
Biochem Biophys Res Commun 2009 Feb;379(3)	Wild-type AIRE cooperates with p63 in HLA class II expression of medullary thymic stromal cells.	外岡 暁子	病理部
Hum Pathol 2009 Mar;40(3)	Infrequent SMARCB1/INI1 gene alteration in epithelioid sarcoma: a useful tool in distinguishing epithelioid sarcoma from malignant rhabdoid tumor.	長谷川 匡	病理部
Intern Med 2009 Mar;48(5)	Primitive neuroectodermal tumor of the pancreas.	長谷川 匡	病理部
整形外科 2009年1月 60巻1号	血管肉腫	長谷川 匡	病理部
病理と臨床 2009年2月 27巻2号	通常型骨肉腫の臨床像と病理所見(特集 骨関節病変のエッセンスI-腫瘍性病変-)	長谷川 匡	病理部
病理と臨床 2009年2月 27巻2号	軟骨肉腫の悪性度(特集 骨関節病変のエッセンスI-腫瘍性病変-)	長谷川 匡	病理部
整形外科 2009年3月 60巻3号	類上皮肉腫	長谷川 匡	病理部
Journal of Hand Therapy, July-September	The Excursion of the Median Nerve during Nerve Gliding Exercise: An Observation with High-resolution Ultrasonography.	Ayumu Echigo, Mitsuhiro Aoki, Sumio Ishiai, Masato Yamaguchi, Mariko Nakamura, Yuji Sawada	リハ医学
神経心理学 2008.12.25. 24(4);282-	失文法と反響言語を呈した交叉性失語の1例	阿部晶子, 石合純夫, 関 啓子	リハ医学
神経心理学 2008.6.25.24(2);146-	半側空間無視における図形模写の偏りの診断的意義: BIT行動性無視検査パソコン版を用いた遂行パタンの分析.	関 理絵, 石合純夫, 小山康正, 関 啓子, 岡田恒夫	リハ医学
Microbiol Immunol 2008,52	Diversity of staphylocoagulase and identification of novel variants of staphylocoagulase gene in Staphylococcus aureus.	Kinoshita M	検査部

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
Allergol Int 2008, 57	Detection of specific IgE antibodies in sera of Japanese birch-allergic patients using recombinant allergens bet v 1, bet v 2 and bet v 4.	Shirasaki H	検査部
日本臨床検査自動化学会誌 2008, 33	HbA1c測定試薬「ノルディアHbA1c」の基本性能に関する検討.	竹内麻衣	検査部
日本臨床検査自動化学会誌 2008, 33	全自動血液凝固測定装置CS-2000iiによるプロトロンビン時間および活性化部分トロンボプラスチン時間測定の基礎的検討.	村井良精	検査部
日本臨床検査自動化学会誌 2008,33	C-ペプチド測定試薬「ルミパルス C-ペプチド」の有用性に関する検討.	近藤 啓	検査部
日本臨床検査自動化学会誌 2008,33	全自動多項目血液学分析装置による免疫学的血小板測定の性能評価 一破碎赤血球が測定値に及ぼす影響一	田村慶一	検査部
日本臨床検査自動化学会誌 2008,33	全自動他項目血液学分析装置による白血球生細胞率測定の性能評価.	近藤 崇	検査部
日本臨床検査自動化学会誌 2008,33	遺伝子組み換えヒト組織因子を用いたプロトロンビン時間およびフィブリノーゲン濃度同時測定系の性能評価.	大江由衣	検査部
日本臨床検査自動化学会誌 2008,33	ドライケミストリー法によるビリルビン測定試薬の基本性能に関する検討.	米澤 仁	検査部
日本臨床検査自動化学会誌 2008, 33	化学発光測定装置「PATHFAST」による脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)測定に及ぼす抗凝固剤および溶血の影響.	浅沼康一	検査部

計 352 件



## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	札幌医科大学附属病院長 塚本 泰司
管理担当者氏名	病院課長 伊藤 徹彦 / 患者サービスセンター長 竹内 正明 / 薬剤部 宮本 篤 医療安全推進部長 宝金 清博 / 感染制御部長 渡邊 直樹

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	病院課、各診療科、カルテ庫、各記録関係部科	病歴資料については、各診療科毎に作成し、カルテ庫で管理（一診療科一カルテ） 処方箋については、薬剤部にて保管管理 エックス線写真については、各診療科とカルテ庫において保管管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
	高度の医療の提供の実績	各診療科
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科
	高度の医療の研修の実績	病院課
	閲覧実績	
	紹介患者に対する医療提供の実績 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事センター 病院課及び薬剤部
規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全推進部
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全推進部
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者サービスセンター
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進部
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進部
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進部
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室

規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	業務課
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	業務課
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	業務課
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	業務課

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	北海道公立大学法人札幌医科大学理事長 今井 浩三
閲覧担当者氏名	北海道公立大学法人札幌医科大学事務局患者サービスセンター長 竹内 正明
閲覧の求めに応じる場所	北海道公立大学法人札幌医科大学事務局患者サービスセンター

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0人
閲覧者別	医師	延	0人
	歯科医師	延	0人
	国	延	0人
	地方公共団体	延	0人

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	73.2%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算 定 根 拠	A: 紹介患者の数	12,128人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,285人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	284人	
	D: 初診の患者の数	19,638人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延べ数を記入すること。

## 規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 3 名)
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 2 名)
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
・所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 4 ) 名 ・活動の主な内容 ○附属病院における安全対策の総合企画・総合調整 ○事故発生報告書及びインシデントレポートに基づく事故原因の分析及び再発防止策の検討業務 ○再発防止策等について診療科・看護室のリスクマネージャーを通じて現場への指導 ○再発防止策のマニュアル化及びその周知徹底 ○安全管理に関する最新情報をリスクマネージャー会議、リスクマネジメントニュースの発行を通じて全職員へ周知徹底	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・指針の主な内容： ○「札幌医科大学附属病院における安全管理指針」 医療の安全管理に関する基本方針を定めるとともに院内の責任体制を明確にし、医療安全管理の具体的な推進方策について9項目を規定している。 1 総則、 2 医療安全管理のための組織体制、 3 医療の安全確保を目的とした改善のための方策、 4 安全管理のための職員研修の実施、 5 医療事故発生時の対応方法、 6 患者相談窓口の設置、 7 安全な医療を提供するためのマニュアル・ガイドライン、 8 本指針の閲覧、 9 附則	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 (平成20年度)	年 49 回
・活動の主な内容： ○医療事故防止対策委員会 (定例) 12回 医療事故の原因分析・再発防止策等の検討を実施 ○安全対策委員会 (定例) 12回 インシデントの原因分析・再発防止策の検討、マニュアル等の検討 ※ 各検討結果を現場へフィードバックし、周知徹底を図っている。 ○医療クオリティ審議委員会 (随時) 6回 傷害レベル3b以上の緊急または既事案について調査、検討し、事故か否か判断 ○リスクマネージャー連絡会議 (集会4回、メール連絡12回) 集会で年度のインシデントの周知をはかり、注意喚起した。電子メールによる各リスクマネージャーからの問い合わせ又は意見提起、これに対する回答等、双方向の連絡 (定例)4回 (随時) 12回 ○医療問題調査委員会 (随時) 3回 医療紛争に関する事項の検討	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 (平成20年度)	
・研修の主な内容： ○全職員を対象とした安全対策研修 年 7回 ○全医療職を対象としたBLS・AED講習会 年 5回 ○その他医師・看護師・看護助手を対象とした研修会 年 8回	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 (有) ○「医療事故発生・発見時の対応について」(平成14年11月1日病院長決定)により事故等の区分を6段階にレベル分けし、院内報告の仕方や取扱いを明らかにするとともに、再発防止策の検討方法を規定している。 ・その他の改善のための方策の主な内容： ○医療安全確保のための業務改善計画書に基づく巡回点検の実施 各所属において「業務改善計画書」を作成・提出させ、医療安全推進室長、GRM、医療事故防止対策委員が診療科、当該計画書の実施状況を確認の上、状況に応じた指導等を行っている。特に医師部門で診療説明書の見直しを行った。 ○転倒・転落防止対策DVDの導入 院内における患者の転倒・転落は患者要因による発生も多いことから、患者本人にその危険性を認識してもらうこととして病室内のテレビに放映し、注意を促した。	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) ・ 無
<p>・ 指針の主な内容</p> <p>○ 「札幌医科大学附属病院院内感染対策指針」</p> <p>札幌医科大学附属病院における院内感染対策に関する基本事項について、規定したものである。院内感染対策についての意識の向上に、資するものである。</p> <p>1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための管理体制・組織 3. 院内感染対策のための職員研修 4. 感染症の発生状況の報告 5. 院内感染発生時の対応 6. 患者等に対する本指針の閲覧 7. その他の院内感染対策の推進</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況 (平成20年度)	年 45 回
<p>・ 活動の主な内容</p> <p>○ 院内感染防止委員会 (ICC) 定例12回 院内における感染情報、抗菌剤使用状況、コンサルテーション内容の報告。院内感染対策に関わる事項の審議と決定を、最高決定機関として行う。</p> <p>○ Infection Control Team (ICT) 定例12回 院内における感染情報、抗菌剤使用状況、コンサルテーション内容の報告。院内感染対策に関わる事項の検討を、実働部隊として行う。</p> <p>○ リンクドクター会議 定例9回 (平成20年7月より開始) 院内における感染情報、抗菌剤使用状況の周知をする。臨床現場における感染対策に関わる事項の情報収集と、具体策の指導を行う。</p> <p>○ リンクナース会議 定例9回 (平成20年7月より開始) 院内における感染情報、手指消毒剤使用状況の周知をする。コンサルテーションに関する情報提供や、感染対策についての指導を行う。</p> <p>○ 新型インフルエンザ対策WG 3回 新型インフルエンザ (鳥インフルエンザを想定) 発生時の、当院における対策マニュアルを作成した。</p>	
③ 従業員に対する院内感染対策のための研修の実施状況 (平成20年度)	年 25 回
<p>・ 研修の主な内容</p> <p>○ 病院感染対策講習会 2回 全職員を対象とする。</p> <p>○ 清掃委託業者における病院感染対策講習会 2回 清掃委託業者全員を、対象とする。</p> <p>○ リンクドクター講習 9回 リンクドクターを、対象とする。</p> <p>○ リンクナース講習 9回 リンクナースを、対象とする。</p> <p>○ 研修医への講義 年1回 研修を受ける医師全員を、対象とする。</p> <p>○ 新採用看護師への講義 年1回 新採用された看護師全員を、対象とする。</p> <p>○ 救急部における感染防止対策について 1回 救急部に配置された医師、看護師を対象とする。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ((有) ・ 無)</p> <p>○ 「感染症発症連絡票」を用いて、患者や職員の感染症発生に関する報告を受けている。</p> <p>○ 感染対策ソフトで院内の菌やウイルスの検出状況を把握し、必要に応じて各部署の責任者等へ詳細報告を求めている。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>○ 広報誌「CLEAN HOSPITAL」を発行し、院内における検出菌の情報提供や感染症についての注意喚起をした。</p> <p>○ ICTメンバーによる病棟ラウンドを実施し、臨床現場の現状把握や改善内容の提案をした。</p> <p>○ 各診療科と各看護室にリンクドクター、リンクナースを1名ずつ任命し、感染制御部と臨床現場の連携を取り、感染対策における指導的役割を担うこととした。</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年5回
<p>・研修の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○トピックス研修会 (各2回) <ul style="list-style-type: none"> <li>「最新のインスリンと血糖管理」 講師：第二内科講師</li> <li>「エビデンスに基づいた医薬品の安全管理・危機管理 ver.2」 講師：医薬品安全管理責任者、薬剤部長</li> </ul> </li> <li>○平成20年度医薬品・医療機器安全管理研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>「医薬品・医療機器の安全管理-最近の医療安全トピックスを中心に-」 講師：医薬品医療機器総合機構 石井健介</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (有) ・ 無 )</p> <p>・業務の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医薬品の採用・購入、医薬品の管理方法、投薬指示・調剤、患者への与薬や服薬指導、医薬品の安全使用に係る情報の取扱い(収集・提供)、他施設との連携</li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無 )</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ハイリスク薬の選定と管理・取扱い：院内周知及び管理状況の確認</li> </ul>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	㊟ ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 11 回
<p>・ 研修の主な内容</p> <p>○安全使用のため、特に高度な技術の習得が必要と考えられる次の医療機器の、「有効性・安全性に関する事項」、「使用方法に関する事項」、「保守点検に関する事項」、「不具合が生じた場合の対応に関する事項」、「使用に際して、特に法令上遵守すべき事項」について研修を行った。また、新たに導入した医療機器（11機種）について、導入時に研修を行った。</p> <p>人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 ( ㊟ ・ 無 )</p> <p>・ 保守点検の主な内容</p> <p>○平成19年3月30日付け厚生労働省通達に基づく次の医療機器のほか、高額医療機器及び住宅用に貸し付けている医療機器を保守点検している。</p> <p>人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( ㊟ ・ 無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>○医療機器安全管理責任者を設置し、ME機器センターにおいて医療機器の添付文書、取扱説明書などの情報を整理及び管理し、医療機器の不具合情報や安全管理情報等を製造販売業者等から一元的に収集し、得られた情報を担当者に適切に提供する。</p>	